

けんぱくものしりシート

カルタ



カルタは、^{むらまちじだい}室町時代にポルトガルから伝わって^{つた}きました。江戸時代になると、^{おお}多くの札の中から^{ふだ}合う札を^{なか}見つけだす^あ遊び方が^{ふだ}生まれ、^{あそ}百人一首や、^{かた}いろはカルタが、^う人びとの^{ひやくにんいっしゆ}間に^あ広まりました。

いろはカルタ

「いろは」47文字と「京」の1字を^{もじ}頭文字にした、^{きやう}ことわざを集めた^じカルタです。「^{かしらもじ}犬も歩けば・・・」(下写真)で始まるので「^{いぬ}犬ぼうカルタ」ともいわれます。



^と取り札には、^{ふだ}頭文字^{かしらもじ}と、^あことわざを表す^{あらわ}絵が描かれていますよ。

^よ読み札には、^{ふだ}ことわざが^か書かれていますよ。

^{かまくらじだい}鎌倉時代の歌人、^{かじん}藤原定家が、^{ひやくにん}百人の歌人から^{かじん}一首ずつ^{いっしゆ}選んだ歌を、カルタにしたものです。

おぐら ひやくにんいっしゆ (小倉) 百人一首



^と取り札には^{ふだ}歌の後半、^{うた}下の句だけ^{こうはん}が書かれていますよ。濁^く点は^かつけないんだ。



^よ読み札には、^{ふだ}歌人の^{かじん}姿^{すがた}と、^{うた}歌が^か書かれていますよ。

^よ読み方は、^{かた}前半の^{ぜんはん}上の句^{かみ}を^く読んだ後、^あ後半の^{こうはん}下の句^{しも}を^か2回^{いっしゆ}続けて^よ読むんだ。

カルタの遊び方を紹介します。家族やお友達と一緒に遊んでみましょう！

遊び方① **ちらし取り**

～基本的な遊び方～

取り札をばらばらにちらして並べます。読む人は読み札をきって1枚ずつ読みます。取る人は、読みあげられた札をさがしてとります。(いろはカルタでは、まちがった札をとると、お手つきで1回休みです。) 取った札の多い人が勝ちです！



遊び方② **源平合戦**

～向かい合って2組に分かれて遊ぼう！～

読む人は、取り札を2組に半分ずつ配ります。各組は自分たちの前に、取り札を横に段(百人一首は3段)に並べ、読みあげられた札をとります。相手の札をとったら、自分たちの取り札を1枚、相手に送ります。お手つきをしたら相手から1枚札をもらい、自分たちの前に並べます。早く札がなくなった方が勝ちです！



遊び方③ **坊主めくり**

～百人一首の読み札を使って遊ぼう！～

まん中に読み札をうら返して重ねておきます。順番を決め、1人ずつその札をめくりまします。めくった札が坊主(僧)以外なら札をもらいます。坊主がでたら、持っている札を全てまん中にだします。その札は、次に姫(女性の札)をだした人が全てもらいます。持っている札の多い人が勝ちです！ (*いろいろなルールがあります。)



イラスト: 上村美賀子

【解説員 伊藤敦子】

参考にした本『カルタ』文溪社 2006年

『大図解 日本の伝承遊び』のこつ6巻 簡単にできる室内遊び② 小道具編』リブリオ出版 2005年 他

来月(1月)の
けんぱくものしりシートは
地質-2 だよ!



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
http://www.pref.iwate.jp/hp0910/